

幼稚園教諭免許状授与の所要資格の特例の科目と単位数について

取得可能な免許状の種類		現行特例における要件 (一種、二種 共通)	新特例における要件 (一種、二種 共通)	
教科及び教職に関する科目	領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	-	
		<b>保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）</b>	<b>2（※2）</b>	
	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	-	-
		<b>教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）</b>	2	2
		<b>教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）</b>	2（※1）	2（※1）
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	-	-
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	-	-
		<b>教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）</b>	1	1
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	<b>教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）</b>	<b>（※2）</b>	<b>（※3）</b>
		幼児理解の理論及び方法	1	-
教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		-	-	
教育実践に関する科目	教育実習	-	-	
	教職実践演習	-	-	
大学が独自に設定する科目		-	-	
合計単位数		<b>8</b>	<b>6</b>	

※1 「教育に関する社会的、制度的又は経営的事項」の学修にあたっては、日本国憲法の内容（とりわけ第26条（教育を受ける権利））が取り扱われるよう留意。

※2 「保育内容の指導法」及び「教育の方法及び技術」を合わせて**2単位**を修得。

※3 「保育内容の指導法」及び「教育の方法及び技術」を合わせて**1単位**を修得。

※4 特例を用いない場合、上記の各科目の他、日本国憲法、体育、外国語コミュニケーション並びに数理、データ活用及び人工知能又は情報機器の操作に関する単位を修得することが必要。